



中筋川流域水源地域ビジョン

令和5年3月

ダム利活用調整協議会



目 次

1. 水源地域ビジョンとは	1
1.1 水源地域ビジョンについて	1
1.2 水源地域ビジョンの目的	1
2. 中筋川ダム水源地域ビジョンの検討経緯	2
2.1 中筋川ダムの未来を考える会	2
2.2 中筋川ダム群を活用した地域活動に関する検討会	6
2.3 ダム利活用調整協議会とダム活元気ネットワーク	8
3. 中筋川流域の現状とニーズ	10
3.1 自然環境	10
3.2 社会環境	11
3.3 中筋川流域の特性	11
3.4 中筋川ダム	12
3.5 横瀬川ダム	15
3.6 地域の特産品	16
3.7 周辺地域の観光	16
3.8 地域資源	21
4. 中筋川流域水源地域ビジョンの基本方針	22
5. 中筋川流域水源地域ビジョンの実施内容	23
5.1 実践テーマと取り組み施策	23
5.2 代表的な取り組み内容	24

1. 水源地域ビジョンとは

1.1 水源地域ビジョンについて

水源地域ビジョンとは、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り、流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を目標として策定する水源地域活性化のための行動計画です。

中筋川ダムでは、平成15年6月に「中筋川ダム水源地域ビジョン」を策定し、これまで、毎年の蛍湖まつりの開催や総合学習の場としてのダム見学等を進めてきました。しかし、策定から年月が経過し、地域のニーズや地域振興に係る情勢が変化してきていること、また、令和2年11月に横瀬川ダムが竣工を迎えたことなどを踏まえ、中筋川ダムと横瀬川ダム及びその周辺施設等を活用した「中筋川流域水源地域ビジョン」として計画を見直しました。

1.2 水源地域ビジョンの目的

中筋川流域水源地域ビジョンは、中筋川ダム及び横瀬川ダム等を活用した地域振興及び防災教育等の自立的・持続的な活動を支援し、地域の活性化につなげることを目的としています。

今後の中筋川流域水源地域ビジョンでは、地域活動の調整と支援を目的とした「ダム利活用調整協議会」、活動の検討や実施等を目的とした「ダム活元気ネットワーク」が両輪となって、水源地域の活性化のための活動を推進していきます。

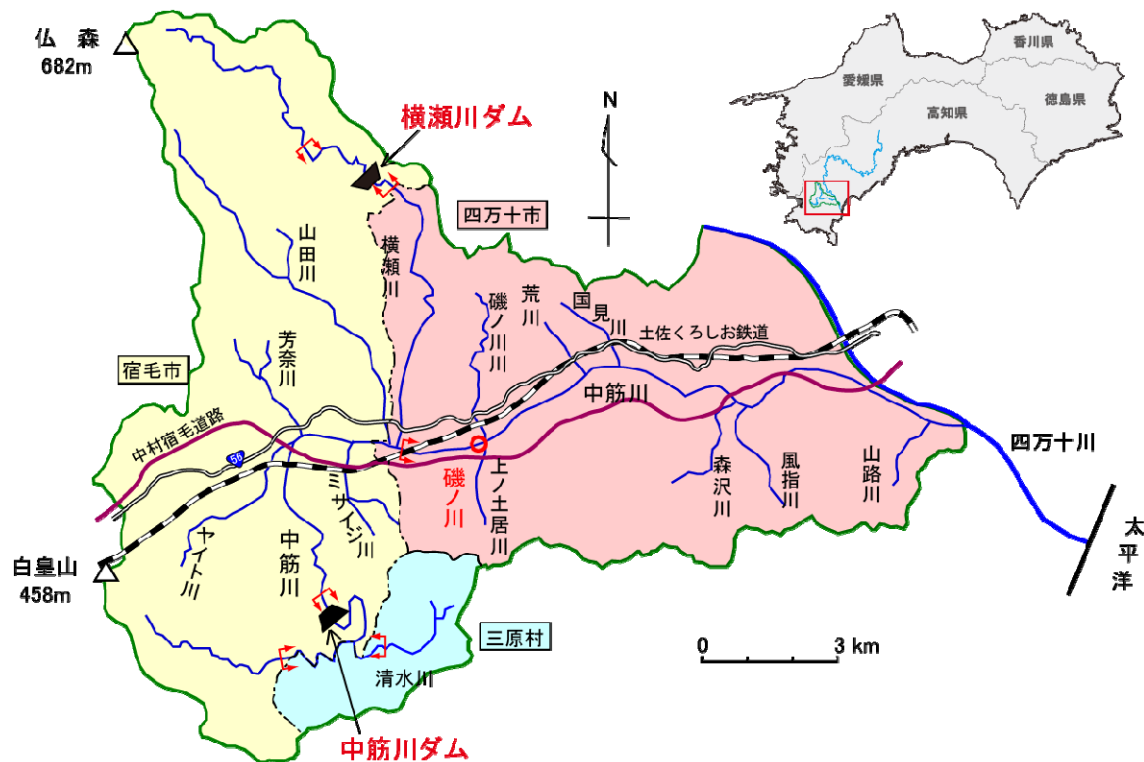


図 1-1 中筋川流域水源地域ビジョンの対象範囲図

2. 中筋川ダム水源地域ビジョンの検討経緯

2.1 中筋川ダムの未来を考える会の議論の経緯

中筋川ダムでは、平成6年4月「地域に開かれたダム」の認定を受け、平成7年11月に周辺市町村及び関係機関、学識経験者により「中筋川ダムの未来を考える会」を設立しました。同会では、中筋川ダムを地域の交流拠点として位置付け、イベント開催の場、体験学習の場、様々な情報発信基地等として利用して地域活性化を図り、訪問者に対して森林やダム河川等の重要性をアピールし、治水・利水事業に対する理解を深める活動を行ってきました。

この「中筋川ダムの未来を考える会」を中心として水源地域ビジョンを検討し、地域との意見交換会を経て、平成15年6月に「中筋川ダム水源地域ビジョン」を策定しました。

「中筋川ダム水源地域ビジョン」では、基本目標を「中筋川流域の自然環境を最大限に活かし、地域と協働で自然環境を目指す」と定め、中筋川ダム湖をはじめとして、周辺の森林、中筋川流域等、豊かな自然環境資源を保全するとともに、より魅力アップを図り、地域への観光客の浸透、交流活動や体験学習のフィールド、親子で一緒に楽しめる場として活用する方向で地域の活性化を図ることを目標とし、取り組みを行ってきました。

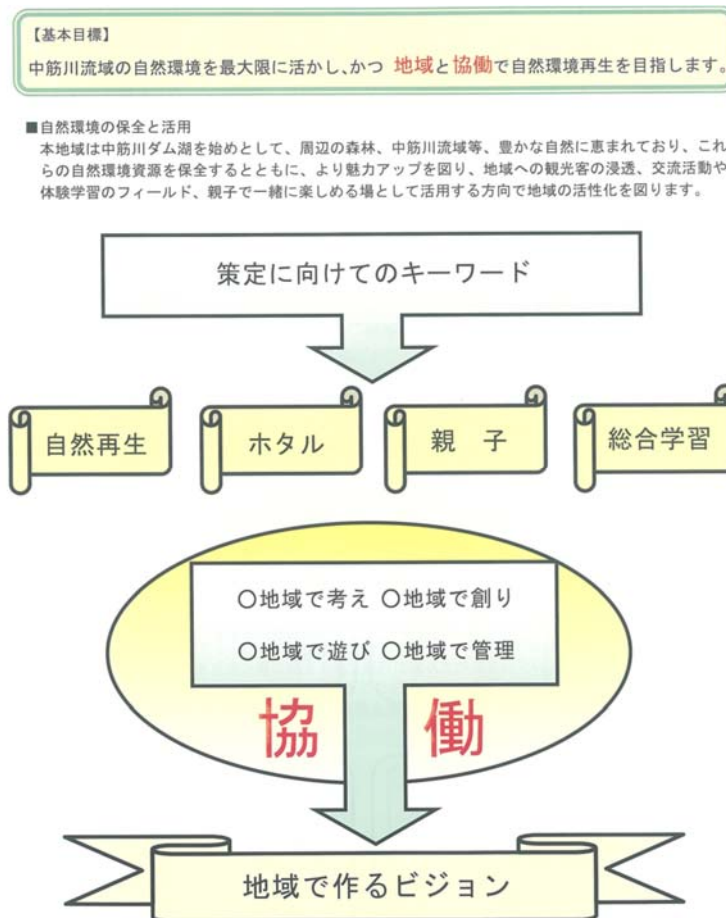


図 2-1 中筋川ダム水源地域ビジョンの基本目標

表 2-1 水源地域ビジョン検討委員会（中筋川ダムの未来を考える会）委員構成（順不同、敬称略）

所 属	構 成	所 属	構 成
民 間	宿毛商工会議所 会頭	宿毛市	宿毛市長
	宿毛青年会議所 理事長		宿毛市教育委員会 教育長
	宿毛市観光協会 会長	三原村	三原村長
	宿毛市森林組合 組合長		三原村教育委員会 教育長
	三原村商工会 会長	中村市	中村市長
	三原村森林組合 組合長		中村市教育委員会 教育長
	野生生物環境研究センター 所長	高知県	高知県宿毛土木事務所長
	高知西南中核工業団地工場会 会長	農林水産省	四万十森林管理署楠山森林事務所長
	中村商工会議所 会頭	国土交通省	四国地方整備局 河川調査官
	中村市観光協会 会長		中筋川総合開発工事事務所長
	中村青年会議所 理事長		

表 2-2 水源地域ビジョン検討幹事会（中筋川ダムの未来を考える会_幹事会）幹事構成（順不同、敬称略）

所 属	構 成	所 属	構 成
民 間	宿毛商工会議所 副会頭	地域住民	平田町黒川地区長
	宿毛商工会議所 専務理事		平田町戸内地区長
	宿毛青年会議所 副理事長	宿毛市	宿毛市商工観光課長
	宿毛市観光協会 副会長		宿毛市教育委員会 教育次長
	宿毛市森林組合 副組合長	三原村	三原村総務課長
	三原村商工会 副会長		三原村教育委員会 教育次長
	三原村森林組合 参事	中村市	中村市建設課長
	高知西南中核工業団地工場会 副会長		中村市教育委員会 教育次長
	中村商工会議所 副会頭	高知県	高知県宿毛土木事務所 技術次長
	中村青年会議所 副理事長	農林水産省	四万十森林管理署楠山森林事務所 主席森林官
	中村市観光協会 副会長	国土交通省	中筋川総合開発工事事務所 副所長
	宿毛市連合婦人会 会長		〃 調査設計課長
	三原村連合婦人会 会長		〃 工務課長
	中村市連合婦人会 会長		〃 管理課長

表 2-3 中筋川ダム水源地域ビジョンの策定経緯

第1回 幹事会

開催日：平成14年10月4日

討議項目：計画策定の進め方、地域の現状、基本方針

討議結果：蛍をメインとして、既存施設や自然環境資源を有効に活用していく

三原村 公共事業に関する意見交換会（女性フォーラム）

開催日：平成14年11月1日

意見：蛍をメインにした整備、既存施設のPR拡大、桜など四季折々の花の植栽・管理など

宿毛市 公共事業に関する意見交換会（女性フォーラム）

開催日：平成14年11月5日

意見：既存施設や下流と連携したPR、水質浄化、林層改良、既存公園などの維持管理

中村市 公共事業に関する意見交換会（女性フォーラム）

開催日：平成14年11月6日

意見：直轄区間にこだわらない維持管理

第2回 幹事会

開催日：平成14年11月8日

討議項目：施策内容、推進手段、役割分担、実施時期等

討議結果：事務局案を委員会へ提案することを決定

第1回 委員会

開催日：平成14年12月9日

討議項目：中筋川ダム水源地域ビジョン（施策内容、推進手段、役割分担、実施時期等）

討議結果：幹事会提案（案）について了解、中筋川ダム水源地域ビジョンの決定

中筋川ダム水源地域ビジョンの策定・公表

策定・公表：平成15年6月12日

水源地域ビジョン検討会 幹事会



水源地域ビジョン検討会 委員会



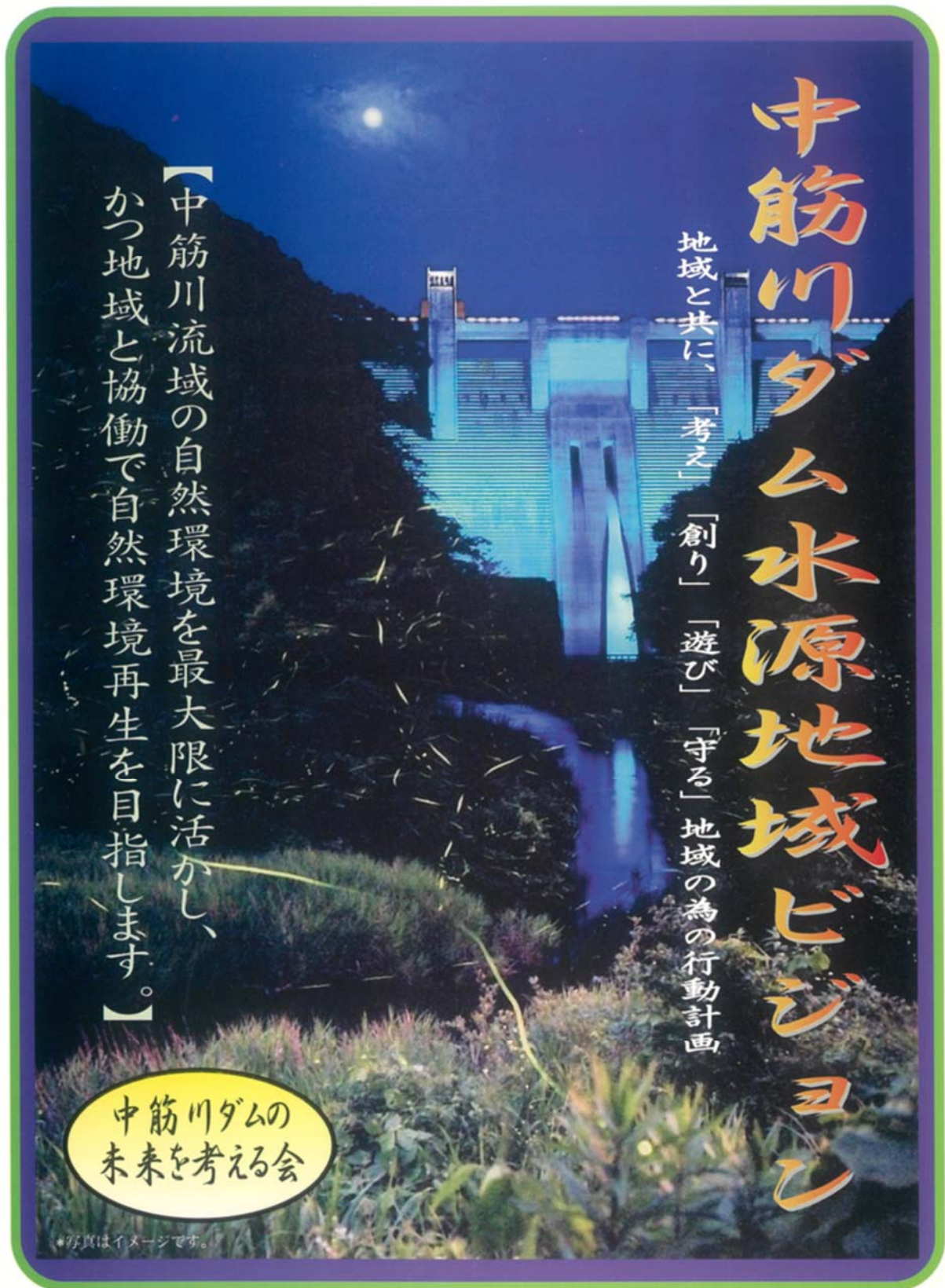


図 2-2 中筋川ダム水源地域ビジョン表紙

2.2 中筋川ダム群を活用した地域活動に関する検討会の議論の経緯

平成 11 年から「中筋川ダムの未来を考える会」の幹事を中心とした「蛍湖まつり実行委員会」により、「蛍湖まつり」を開催し、毎年 1,000~2,000 人の来場者を迎える地域のイベントとして親しまれてきました。一方で、中筋川ダムの完成から年月が経過し、ダムを活用した地域振興に関する地域のニーズが変化してきました。また、当時建設中であった横瀬川ダムの完成が近づいてきたことなどの情勢変化を踏まえ、今後は中筋川ダムだけではなく、横瀬川ダムを含めた 2 ダム等を活用した新たな枠組みについて検討する必要があると、平成 29 年度から関係自治体、地元経済団体、ダム管理者等により「中筋川ダム群を活用した地域活動に関する検討会」を設立し、検討を進めてきました。

その結果、中筋川ダム群の活用を推進するための枠組みとして、「ダム利活用調整協議会」と「ダム活元気ネットワーク」を設立することを決定しました。また、これまでに実施してきた蛍湖まつりの現状と課題を踏まえ、内容のリニューアルと実施主体について議論しました。

表 2-4 中筋川ダム群を活用した地域活動に関する検討会の構成組織

構成組織
宿毛市商工観光課
宿毛商工会議所
四万十市まちづくり課
中村商工会議所
三原村総務課
三原村商工会
蛍湖まつり実行委員会
中筋川総合開発工事事務所

表 2-5 中筋川ダム群を活用した地域活動に関する検討会の経緯

第1回 会議

開催日：平成29年10月2日

討議項目：検討会の趣旨説明、蛍湖まつりの現状と課題、他ダムの事例紹介、今後の方向性に関する意見交換

討議結果：地域活動のための枠組みの必要性を共有。中筋川ダムと横瀬川ダムを活用したイベントや学習の場を持続的に提供する方向性を共有。

第2回 会議

開催日：平成30年2月22日

討議項目：ダムを活用した地域活性化の全国事例、地域活性化方針素案と活動メニューのイメージ、地域活動エリアの紹介、方向性素案作成に向けての意見交換

討議結果：地域活動の枠組みの必要性を共有。人手や予算、持続可能性の観点から活動メニューを検討していく方向性を共有。

第3回 会議

開催日：平成30年7月6日

討議項目：ダムを活用した地域活性化活動の枠組みについて、今後の活動メニュー、第23回蛍湖まつりについて

討議結果：事務局提案の枠組みと構成メンバーで合意。中筋川ダムの桜、横瀬川ダムの紅葉を軸にしたイベント、ダムでのクライミング、お酒の熟成等への活用が提案された。

第4回 会議

開催日：平成30年12月3日

討議項目：中筋川ダムを活用した地域活性化メニューについて

討議結果：蛍湖まつりを、子供キャンプを軸としたイベントにリニューアルすることで合意。ダム湖でのカヌー活用、お酒の蔵出しイベントが提案された。

第5回 会議

開催日：平成31年3月4日

討議項目：ダム利活用調整協議会（案）について、中筋川ダム群（中筋川ダム、横瀬川ダム）を活用した地域振興や防災教育の取組、2019 蛍湖まつりのリニューアルについて

討議結果：新たな協議会の目的に防災教育を追加することで合意。自然観察会（植樹）、ダム見学会、サイクリングの実施予定を共有。2019 蛍湖まつりのリニューアル案で合意。

第6回 会議

開催日：令和元年5月28日

討議項目：活動組織の変更について、ダム利活用調整協議会とダム活元気ネットワークの設立について、ダム活元気ネットワークの今後の活動計画について

討議結果：今後の活動組織と活動計画について合意。

2.3 ダム利活用調整協議会とダム活元気ネットワークの検討の経緯

「中筋川ダム群を活用した地域活動に関する検討会」での討議内容を受け、中筋川ダム及び横瀬川ダムの2ダム等を活用した地域振興及び防災教育の地域活動に関する調整等を図るとともに、自立的・持続的活動を支援することを目的とし、令和元年7月に「ダム利活用調整協議会」を設立しました。

また、具体的な活動の検討及び実施、支援する地元活動組織として「ダム活元気ネットワーク」を令和元年7月に設立し、蛍湖まつりをはじめ、今後の地域活動について検討を進めています。

表 2-6 ダム利活用調整協議会とダム活元気ネットワークの構成（順不同、敬称略）

ダム利活用調整協議会	ダム活元気ネットワーク幹事構成
四万十市長	四万十市まちづくり課
宿毛市長	宿毛市商工観光課
三原村長	三原村地域振興課
四万十市教育長	四万十市教育委員会
宿毛市教育長	宿毛市教育委員会
三原村教育長	三原村教育委員会
中村商工会議所会頭	中村商工会議所
宿毛商工会議所会頭	宿毛商工会議所
三原村商工会会長	三原商工会
高知県幡多土木事務所宿毛事務所長	四万十市観光協会
四国地方整備局渡川ダム統合管理事務所長	宿毛市観光協会
	高知県幡多土木事務所宿毛事務所長
	四万十市横瀬区（横瀬川ダム関係）
	宿毛市山田区（横瀬井川ダム関係）
	宿毛市戸内区（中筋川ダム関係）
	宿毛市黒川区（中筋川ダム関係）
	三原村宮ノ川区（中筋川ダム関係）
	三原村星ヶ丘区（中筋川ダム関係）
	四国地方整備局渡川ダム統合管理事務所

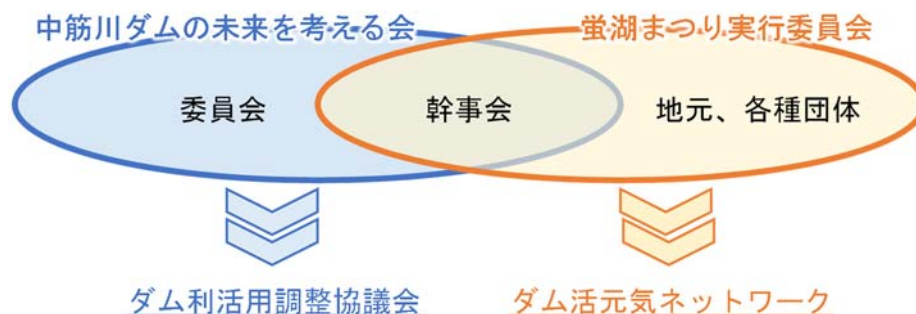


図 2-3 活動組織の変更

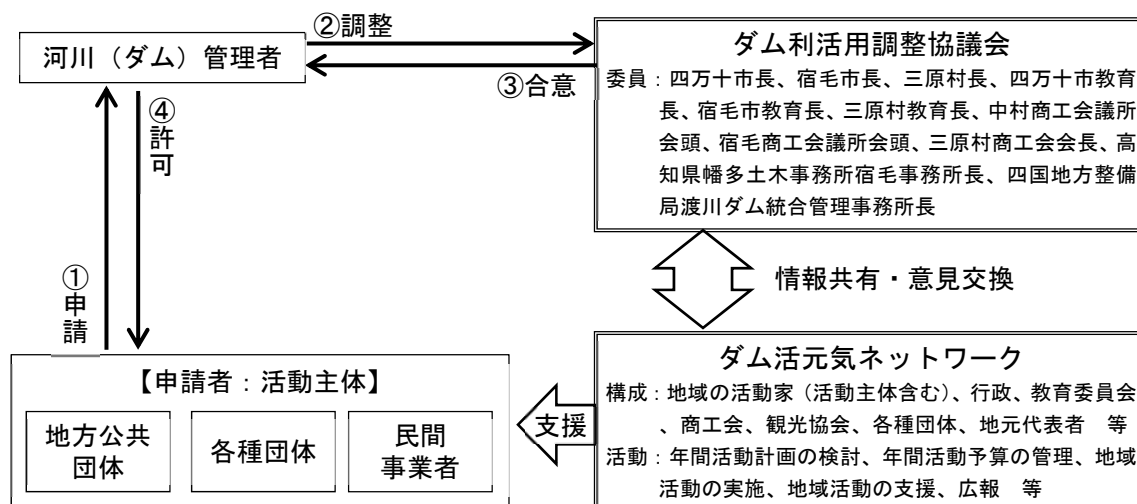


図 2-4 ダム活用調整協議会とダム活元気ネットワークの活動の枠組み

表 2-7 ダム活用調整協議会とダム活元気ネットワークの経緯

ダム活用調整協議会 第1回 委員会

開催日：令和元年7月1日

討議項目：協議会の委員紹介、設立趣旨、規約の説明・承認、会長選出

討議結果：協議会設立、会長選出（宿毛商工会議所会頭）に合意。

第1回 ダム活元気ネットワーク会議

開催日：令和元年7月26日

討議項目：メンバー紹介、設立趣旨、規約の説明・承認、役員選出

討議結果：ネットワーク設立、役員選出（会長：宿毛商工会議所副会頭）に合意。

第2回 ダム活元気ネットワーク会議

開催日：令和2年2月13日

討議項目：令和元年度活動報告、令和2年度活動計画、予算、今後のスケジュール

討議結果：活動報告及び活動計画

ダム活用調整協議会 第2回（書面報告）※

書類送付日：令和2年5月25日

報告内容：令和元年のイベント実施状況、国土交通省組織名称変更（渡川ダム統合管理事務所）

ダム活用調整協議会 第3回（書面報告）※

書面送付日：令和3年6月11日

報告内容：会長の変更（中村商工会議所会頭）、役員追加（幡多土木事務所宿毛事務所長）

※ダム活用調整協議会の第2回と第3回は感染症対策のため書面による報告のみ実施

3. 中筋川流域の現状とニーズ

3.1 自然環境

中筋川は、高知県宿毛市の白皇山（標高 458m）を源とし、横瀬川、ヤイト川、山田川等の支川を合わせて、中筋平野を東に流れ、四万十市実崎地点で四万十川と合流している一級河川です。河川延長は 36.4km、流域面積は 144.5km²です。流域の多くを山林が占め、流域の 1/4 程度を構成する平地には、水田や畑面積が広がっています。

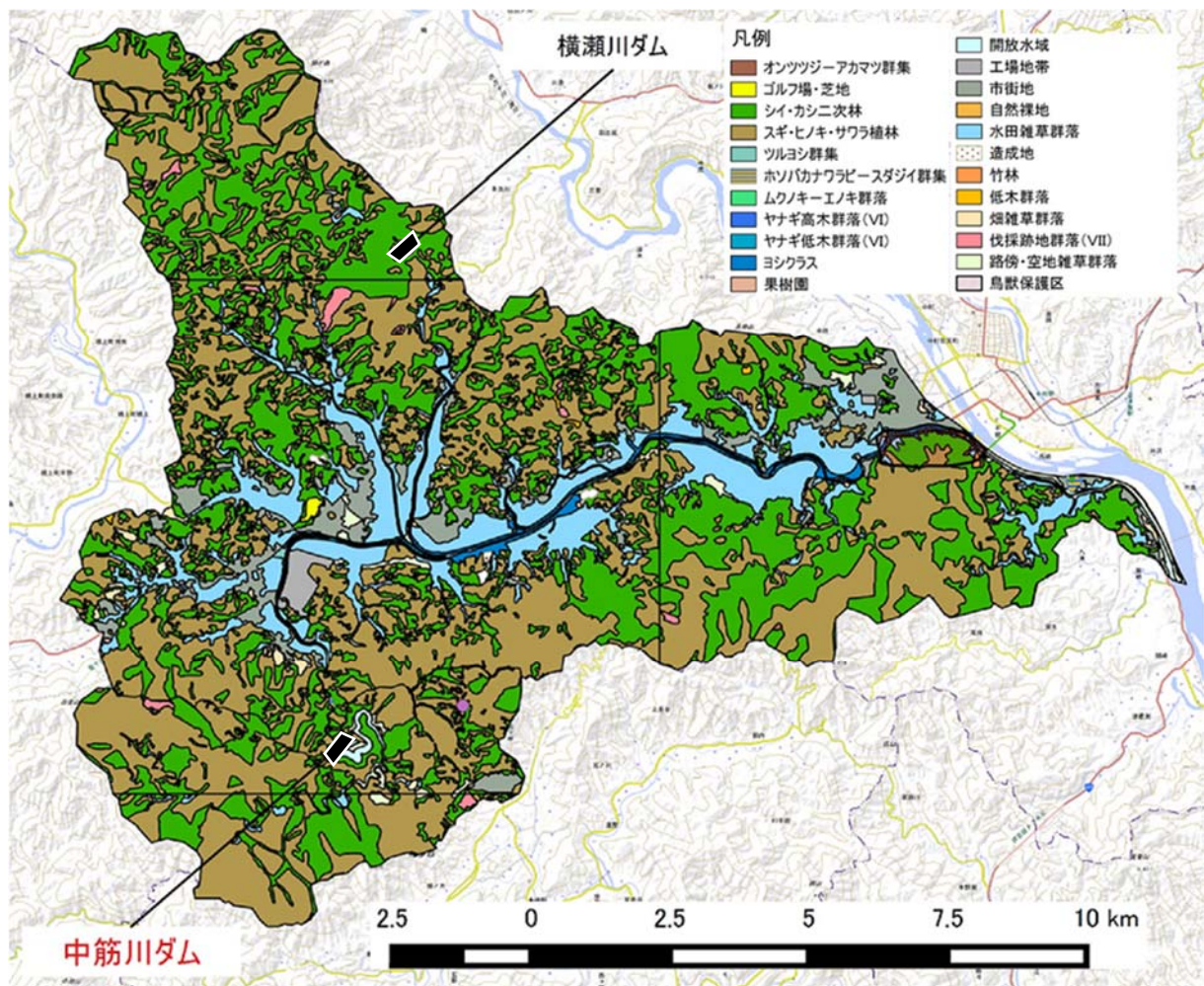


図 3-1 中筋川流域の環境情報図

中筋川ダム周辺は、スギ・ヒノキ植林地とシイ・カシを中心とする暖地性二次林が広がっており、高知県でも有数の猛禽類の生息・飛来地となっています。また、冬季になると、中筋川ダム湖にはオシドリやカモ類等の多くの水鳥、中筋川ダム下流の湿地帯にはナベヅルやマナヅルが飛来します。中筋川ダム上流では、全国的にも珍しい陸封アユが確認されています。一方で、ダム建設以前には見られなかったオオクチバスやブルーギルがダム湖及びダム下流で確認されており、

ダム湖での繁殖、増加が懸念されます。昆虫類では、「蛍湖」の名称にふさわしく、ダム下流河川やダム湖への流入河川では、毎年初夏には多くのゲンジボタルやヒメボタルが見られます。

横瀬川ダム周辺には、スギ・ヒノキなどの針葉樹やシイ・カシなどの広葉樹が分布しています。ダム下流には、シイ・カシの原生林やトドロの滝があり、これらを保全するため、日本で初めて側水路減勢方式を採用しました。ダム上流域には豊かな自然が広がっており、オオタカが生息するほか、初夏にはヤイロチョウが飛来するなど、重要種の生育場所となっています。

3.2 社会環境

中筋川流域は、高知県西南部に位置し、上中流域は、高知県宿毛市の一部と高知県三原村の一部からなり、下流域は高知県四万十市となっています。国勢調査結果によると、中筋川流域を構成する四万十市、宿毛市、三原村の人口は減少傾向にあります。年齢別に見ると、15歳未満の人口は減少しているのに対して、65歳以上の人口は増加しており、少子高齢化の傾向にあります。

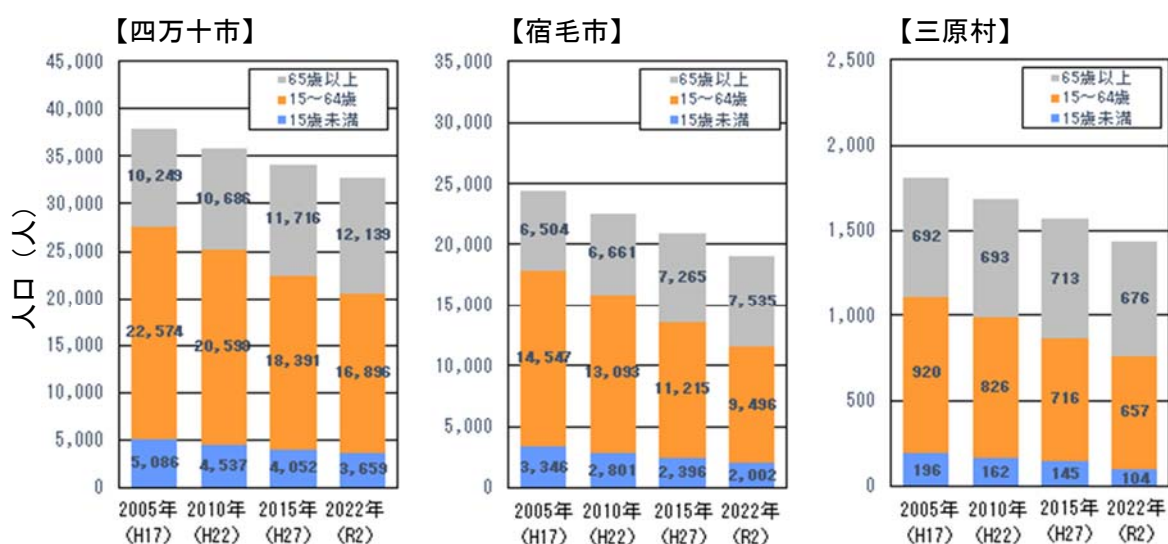


図 3-2 中筋川流域市町の人口動態（国勢調査結果より）

3.3 中筋川流域の特性

中筋川流域は、全域が台風や降雨による降水量の多い地帯であり、さらに河川勾配が極端に緩く、四万十川の水位が高くなるとその影響で中筋川の水位も高くなるため、洪水の度に浸水被害が発生していました。国土交通省ではこれまで中筋川の堤防整備などを実施してきましたが、その後も浸水被害が相次いだことから、上流に中筋川ダムと横瀬川ダムを建設することで、洪水による被害を防止、軽減する計画としました。

中筋川ダムは昭和 58 年 4 月に事業に着手し、平成 11 年 4 月より管理を開始しており、横瀬川ダムは平成 2 年 6 月に事業に着手、令和 2 年 6 月より管理を開始しています。

2 ダムの統合管理により、中筋川流域の安心、安全の確保に努め、豊かな暮らしの実現を目指しています。

3.4 中筋川ダム

中筋川ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい・都市用水の安定供給等を目的に、平成10年8月に竣工した多目的ダムです。ダムの景観にも配慮しており、土木学会デザイン賞2001の優秀賞を受賞しています。また、ダム湖内でのプランクトンの増殖を抑えるために設置した噴水、ダム下流面を定期的に洗浄するための放水、夜間の堤体ライトアップ施設、ダム上流の公園等多くの施設を備えています。

中筋川ダム周辺では、5～6月に蛍の乱舞が見られます。そのような自然環境が保たれることに願いを込め、「蛍湖」という名称が付けられました。

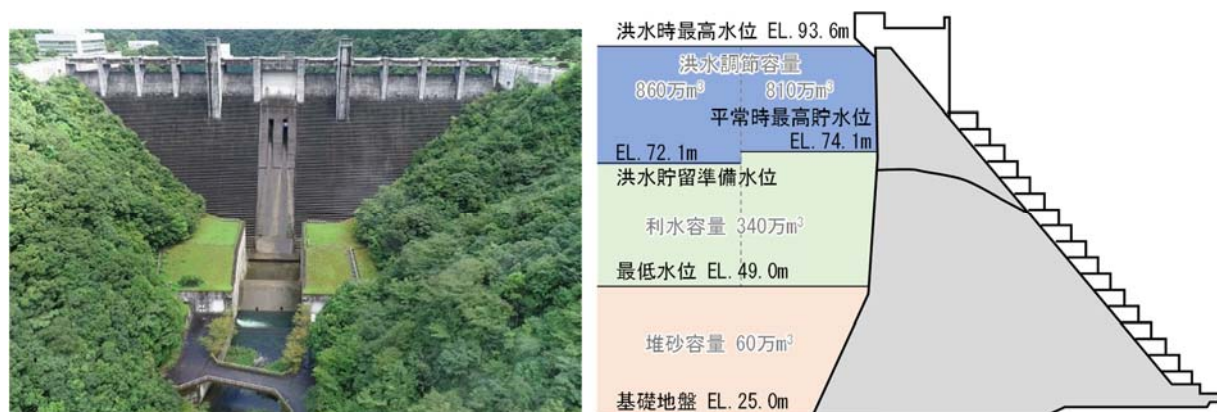


図 3-3 中筋川ダムの諸元



図 3-4 中筋川ダム周辺地図

中筋川ダムでは、平成8年度から蛍湖まつりを継続して実施しており、毎年800人以上の親子連れが訪れ、ダム見学、地元婦人会によるおいしいもの市、カヌー体験、子供キャンプ、防災関係イベントなど、様々なイベントを実施しています。令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルスの感染・拡大等の防止の観点から中止となりましたが、令和4年度はダムの利点を活かした学習体験型のイベントとして取り組みを再開しています。

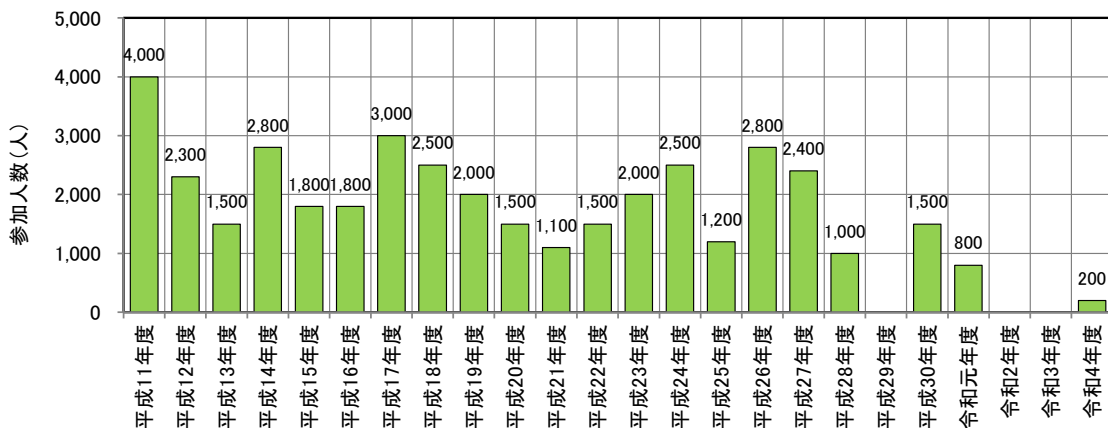


図3-5 蛍湖まつり参加者数の推移

中筋川ダム冒険クイズラリー
 普段は入ることのできない中筋川ダムの中を地図を片手に探検してみませんか? チェックポイントではダムの学習をしたり、地域に関わるクイズや特産品を使ったジュースの飲み比べコーナーもあります!

現場で動くドローンを体験!
 ドローンシミュレーター体験 & 水中ドローン撮影体験
 川現場等で活躍するドローンのシミュレーター体験をしてみませんか? ダムの貯水地の調査等でも活躍が期待される水中ドローンも実際に操縦できますよ!
 協力: 滝島探検船着、島元エヌパートナー、オカノテクノラフト

中筋川ダム冒険クイズラリー
 午前・午後各20名限定!
 (事前申し込み制)
 詳細は下記をご覧下さい。
 申し込みは裏面をご覧ください。

現場で動くドローンを体験!
 当日・先着順で体験可能!
 詳細は下記をご覧下さい。

蛍湖まつり2022 イベントスケジュール

- ★おいしいもの市～中筋川ダムにキッチンカーがやってくる!～
 渡川ダム統合管理事務所前 10:00～15:00
- ★中筋川ダム冒険クイズラリー
 午前 10:00 スタート
 午後 13:00 スタート
 (10分前より受付開始)
- ★現場で動くドローンを体験!
 ・ドローンシミュレーター体験
 ・水中ドローン体験コーナー
 10:00～15:00
- ★洗濯水 11:00、14:00
- ★観水 10:00、12:00、14:00
- ★ペーパークラフトで構造物ダムを作ろう! 10:00～15:00

主催:ダム活元気ネットワーク
 お問い合わせ:渡川ダム統合管理事務所(事務局) 0880-66-2501

中筋川ダム冒険クイズラリー申し込み方法

必要事項をメール又はお電話にてご連絡ください。小学生以下のお子様は保護者同伴とさせていただきます。
 先着順にて受け付けますので定員に達したら申し込みを終了します。

【必要事項】
 ①申し込み人数 (大人○人・子供○人)
 ②代表者氏名
 ③代表者電話番号 (緊急時に連絡が可能な番号)
 ④午前・午後の希望

当日、受付にて参加者の皆様の氏名・ご住所をお伺いします。

【申し込み先】
 渡川ダム統合管理事務所 管理課
 平日 8:30～17:15
 電話 0880-66-2501
 Mail skr-f7950@mit.go.jp

参加者募集中!

中筋川ダム冒険クイズラリー
 1回目 9:50 受付
 10:00 スタート
 2回目 12:50 受付
 13:00 スタート
 集合場所 渡川ダム統合管理事務所前

位置図・駐車場案内

※駐車場からのバスによる送迎はありません。
 駐車場と会場間の移動は徒歩でお願いします。
 会場内では誘導員の指示に従ってください。

【主催】ダム活元気ネットワーク 【助成支援】(一社)四国クワイエ協会
 (協力)ダム活用調整協議会 四万十市、宿毛市、三原村
 四万十市教育委員会、宿毛市教育委員会、三原村教育委員会、中村商工会議所、
 宿毛商工会議所、三原村商工会、幡多土木事務所宿毛事務所

【お問い合わせ先】
 事務局:渡川ダム統合管理事務所 管理課 高知県宿毛市平田町黒川字櫛ヶ崎山
 電話:0880-66-2501 Mail:skr-f7950@mit.go.jp

図3-6 蛍湖まつりの案内チラシ

3.5 横瀬川ダム

横瀬川ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給を目的に、令和2年11月に竣工した多目的ダムです。ダム下流のシイ・カシの原生林やトドロの滝を保全するため、堤体下流面で減勢する側水路減勢方式を日本で初めて採用しています。また、工事期間中にも現場見学会を積極的に実施したこと等が評価され、日本ダムアワード2018年のイベント賞を受賞しています。ダム堤体下流面の右岸側には、宿毛市が整備した日本で初めてのダムクライミング施設があります。

横瀬川ダム湖の名称は、地域に親しまれ、延いては四季を通じて皆様に愛される幡多地域となるよう願いを込めて「もみじ湖」に決定しました。



図 3-7 横瀬川ダムの諸元



図 3-8 横瀬川ダムのクライミング施設

3.6 地域の特産品

宿毛市の特産品には、ブリや真鯛等の魚介類、小ネギやミョウガ、文旦などの農作物が挙げられます。

三原村では、豊富な水を利用して古くから三原米が栽培されており、平成16年には濁酒特区の認定を受け、どぶろく造りを開始しています。また、土佐硯が有名であり、品質の良さでは全国に知られ、「土佐端溪石」と呼ばれ高い人気を集めています。

四万十市の特産品には、四万十ヒノキや四万十栗、ユズやナシ、小夏などの農作物があり、四万十川で採れるアオノリやアユ等も挙げられます。

3.7 周辺地域の観光

中筋川流域は、高知県西南部の幡多地域に属します。幡多地域は、高知市から市町村中心部まで陸路で約100km～150kmの距離にあり、東は土佐湾、西は豊後水道に面する太平洋に突き出た半島で、宿毛市、土佐清水市、四万十市（うち旧中村市の区域）、大月町、三原村、黒潮町（旧大方町の区域）の3市（一部指定を含む）2町1村から構成されています。

宿毛市には沖ノ島・鵜来島、宿毛歴史館、宿毛市総合運動公園等の観光施設があり、沖ノ島・鵜来島周辺ではダイビング、宿毛市総合運動公園ではマウンテンバイクやキャンプ等が楽しむことができます。三原村には星ヶ丘公園ヒメノボタンの里や三原キャンプ場等の観光施設があり、また、どぶろくが有名で中筋川ダムでも三原村名鑑のどぶろく5種類をダムに貯蔵しています。四万十市には、トンボ自然公園や四万十川キャンプ場等の観光施設があり、四万十川ではカヌーやラフティング等の川遊びが楽しむことができます。

幡多地域全体を見ると、日本最後の清流と呼ばれる四万十川や豊富な原生林、足摺宇和海国立公園の区域となっている足摺岬・大堂海岸など雄大な海岸景観と透明度の高い海、だるま夕日など、数多くの観光地があります。

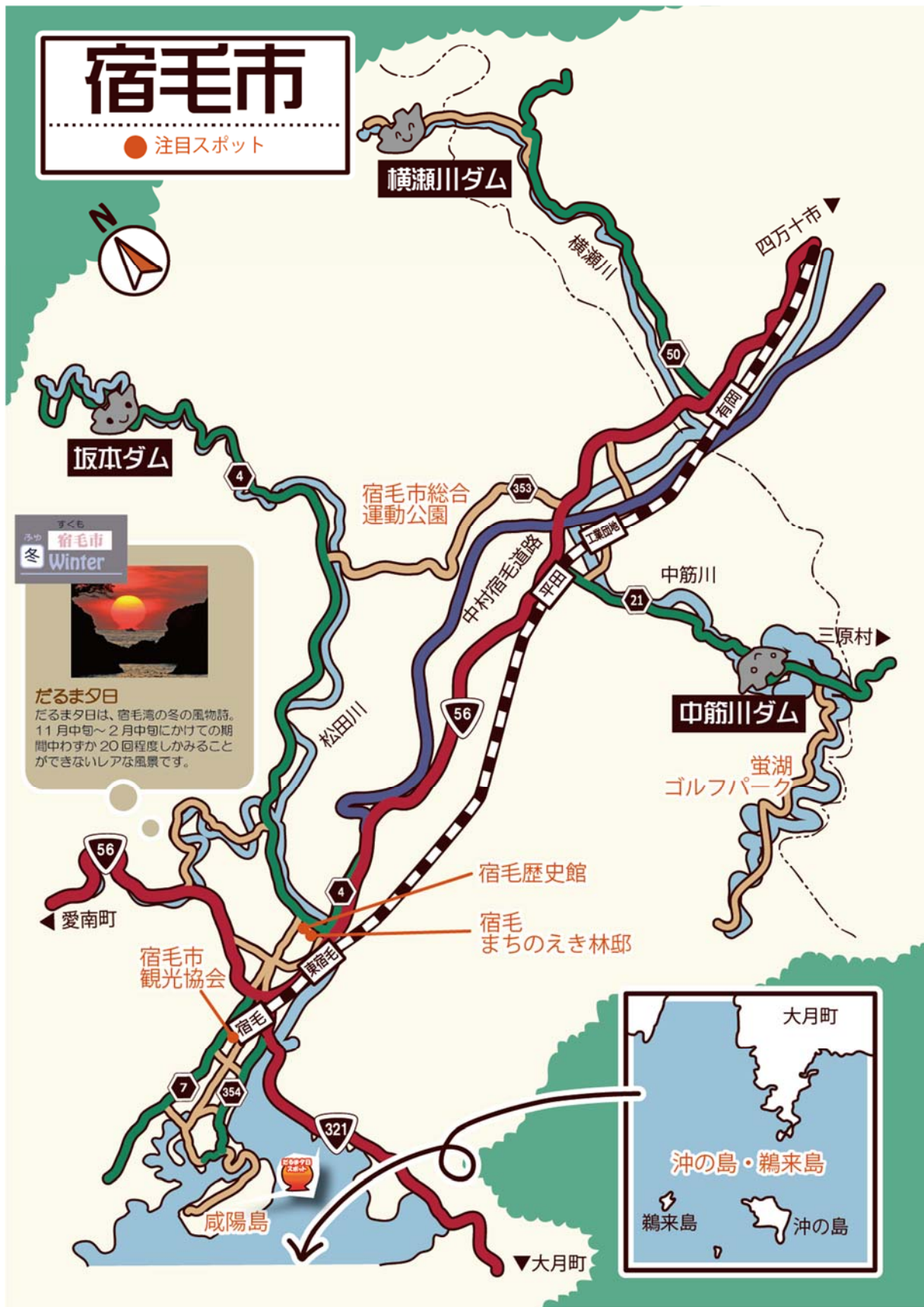


図 3-9 (1) 中筋川流域周辺の観光スポット (宿毛市)

三原村

● 注目スポット



あじさい街道



梅雨の季節、三原村上長谷に、色とりどりの紫陽花が咲き誇ります。三原村のおすすめスポットです。

みはら
夏 Summer



図 3-9 (2) 中筋川流域周辺の観光スポット (三原村)

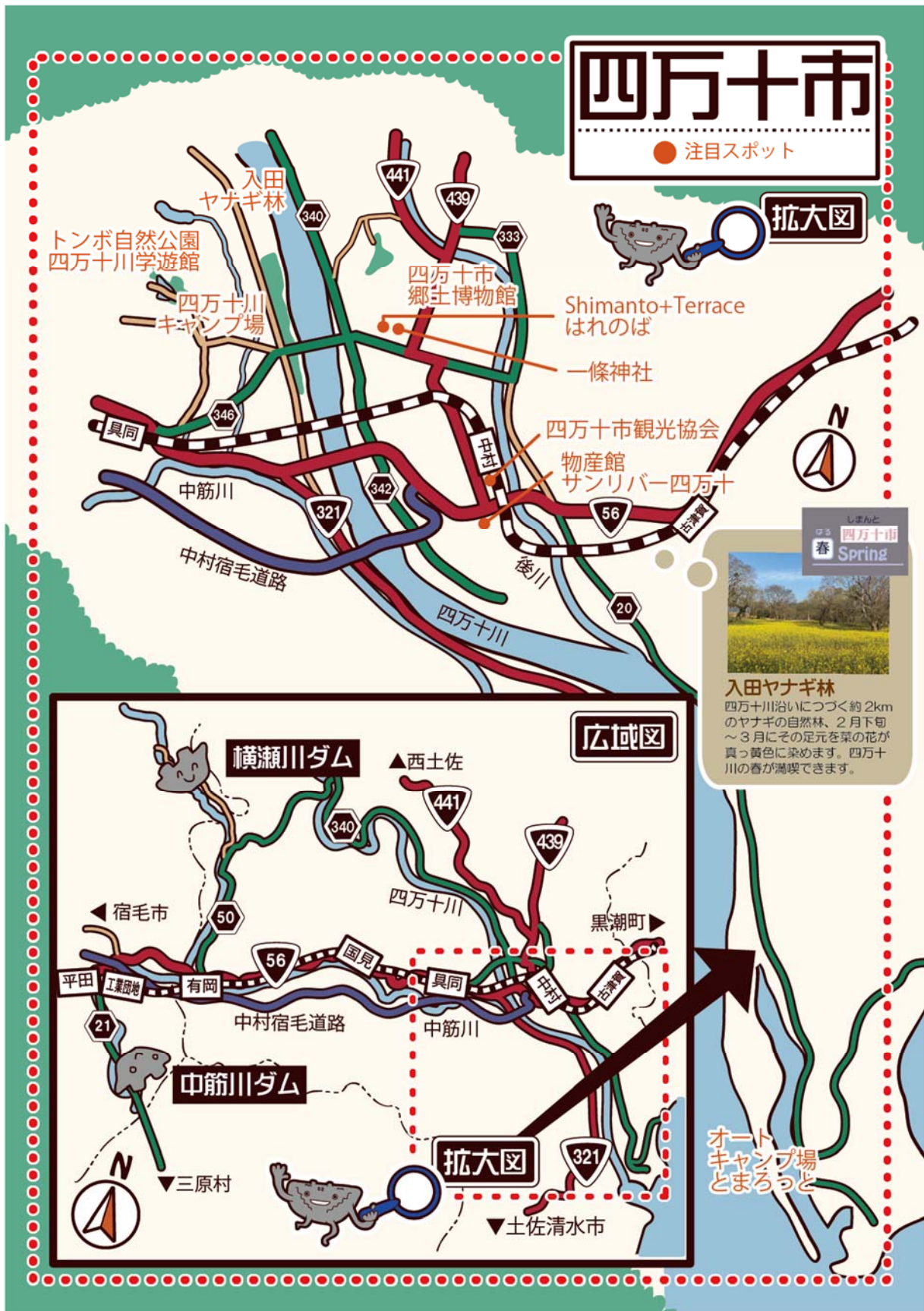


図 3-9 (3) 中筋川流域周辺の観光スポット (四万十市)



図 3-9 (4) 中筋川流域周辺の観光スポット (幡多地域)

3.8 地域資源

平成 29 年度から令和元年度にかけて、「中筋川ダム群を活用した地域活動に関する検討会」として国土交通省と流域市村の関係者が集まり、中筋川ダムと横瀬川ダムの 2 ダム等を活用した今後の地域活動について協議しました。その後、令和 4 年度には市町村に利活用イメージのヒアリングを実施し、ニーズを確認しました。その結果、以下のような意見があり、それらを踏まえて今後の活動内容を検討し、表 3-10 のとおり選定しました。

- ① 広域的に中筋川ダムと横瀬川ダムを連携したイベントができればよい。
- ② ダムを活用した治水、利水に関する見学会等を行い、ダムの位置付けや役割を広報すべき。
- ③ 横瀬川の紅葉や自然、中筋川のホタル、三原のどぶろく等、各地域で様々なイベントがあり、これらを組み合わせたイベントがあれば良い。
- ④ 各観光協会の web サイトでもバナーをつくるなど、ダム情報にリンクしやすい工夫が必要。
- ⑤ 人手や予算、持続可能性の観点から実施可能な活動が良い。
- ⑥ 幡多地域の観光への誘客にダムを活用できれば良い。
- ⑦ ダムの日やダムのイベント等については、積極的な広報をお願いしたい。
- ⑧ 堤体内でのお酒の熟成、ダムでのクライミング等、ダムを有効活用できる可能性がある。
- ⑨ サイクリングやカヌーなどのアクティビティーを取り入れたイベントができれば面白い。
- ⑩ 地域の食と自然を楽しんでもらうイベントがよい
- ⑪ 中筋川ダムは現状の施設を活かした必要最小限の整備による利活用がよい
- ⑫ 横瀬川ダムは施設の再整備により利活用に繋げることがよい
- ⑬ 2 ダムの中間地点周辺の遊休施設等についても土佐くろしお鉄道等と連携しながら、2 ダム来訪の拠点として利活用したい

表 3-10 中筋川ダム群を活用した地域活動に関する検討会及び
R4 年度ヒアリングで提案された活動項目

サイクリング	カヌー、SUP
ダム見学を主体としたイベント (ダムの日、蛍湖まつり など)	ホタルやアユの繁殖活動や観察会、 野鳥観察会
手作り市、地域物産市	植樹会・散策
クライミング	ゴルフパークの利用促進
どぶろくなどの貯蔵	遊休施設を活用した拠点や休憩所
キャンプ (子どもキャンプ含む)	炭焼き小屋の利活用

4. 中筋川流域水源地域ビジョンの基本方針

中筋川ダムと横瀬川ダムの2ダム等を活用した新たな中筋川水源地域ビジョンの基本方針は、以下の通りとします。

基本目標

中筋川ダム・横瀬川ダム・中筋川流域を「知り（学び）」、「使い（遊び）」、各世代の人々を「つなぐ」流域の創生
中筋川ダム、横瀬川ダム、中筋川流域の自然環境や地域の特産物や既存施設等を最大限に活かし、地域と協働で自立的・持続的な活性化を目指します。

基本方針① 自然環境の保全と活用

中筋川流域の豊かな自然環境を保全し、次世代に継承するとともに、中筋川ダムの桜や横瀬川ダムの紅葉等の四季折々の特色を生かしたイベント等を実施し、流域内外の人の交流を生み出します。また、流域を通してホタルやアユが生息する豊かな自然環境に恵まれており、その環境保全を図ります。

基本方針② ダム及びダム湖環境の活用

四国の直轄ダムで唯一「地域に開かれたダム」に指定されている中筋川ダム、クライミング施設を日本で初めて設置した横瀬川ダム、それぞれのダムや湖面、周辺設備等のキャンプ利用や、既存のサイクリングイベントとの連携等のイベント等を実施し、地域活性化を図ります。

基本方針③ 防災教育

ダム堤体や内部の見学会を実施し、ダムの機能や役割の理解促進を図ります。また、ダム見学を幡多地域の観光ツアーに組み込むなど、ダムの活用拡大を図ります。

基本方針④ 情報発信と人材育成

イベントの開催予告や実施状況について、広報誌、SNS、Twitter、Youtube等を用いて積極的に情報発信し、流域への観光者数やイベント来場者の増加を目指します。また、各種活動が自立的かつ持続可能に実施できるよう、積極的に民間事業者の参加を募集、流域の小中学校との連携を図り、地域活動の担い手の育成を目指します。

5. 中筋川流域水源地域ビジョンの実施内容

5.1 実践テーマと取り組み施策

基本方針に基づき、中筋川流域水源地域ビジョンの実現に向け、以下の施策に取り組みます。



5.2 代表的な取り組み内容と取り組み場所

施策の代表的な内容は以下の通りとしますが、社会情勢等に合わせ、実施内容を見直して活動を行います。

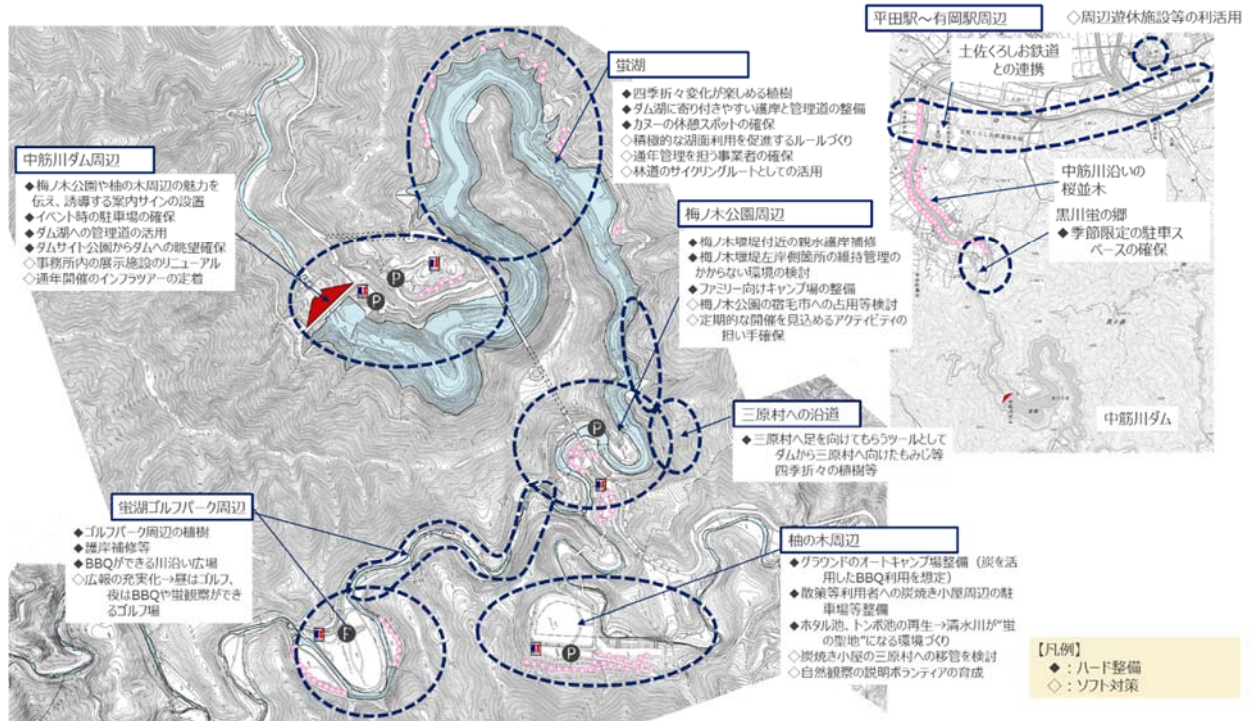


図 5-1 中筋川ダム周辺の取り組み内容と取り組み場所（案）

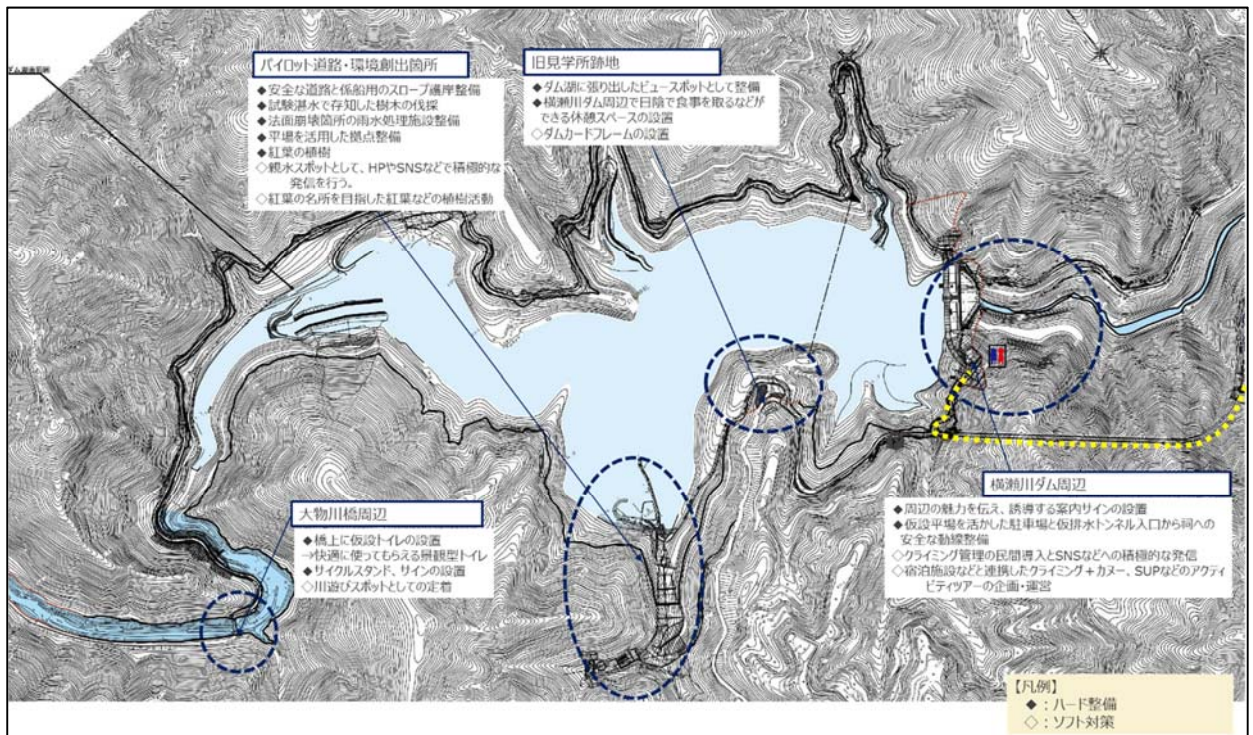


図 5-2 横瀬川ダム周辺の取り組み内容と取り組み場所（案）

基本方針① 自然環境の保全と活用

植樹会・散策

ダム湖周辺の森林環境を保全するため、また、地域の方々にダムに関心を持ってもらうため、流域の小中学校等と連携し、植樹会を実施する。

「お花見ができる中筋川ダム」、「紅葉を楽しむことができる横瀬川ダム」を目指し桜や紅葉の植樹を積極的に実施するとともに、その環境を活かした散策などを行う。



活動時期：秋～早春頃

炭焼き体験

中筋川ダム袖の木における炭焼き小屋を活用し、炭に関する手作り体験を実施する。

ピザ窯でのピザ焼き体験や、隣接するキャンプ場で炭を使ったバーベキューなどを楽しむことができる。



活動時期：早春～秋頃

野鳥観察会

ダム周辺の森林環境に生育する野鳥の観察会を実施する。中筋川下流の取り組みとの連携やカヌーに乗りながらのダム湖上からの観察会、食文化体験との組み合わせなど付加価値のあるイベントに展開する。



活動時期：秋頃

ホタルの繁殖活動と観察会

中筋川ダム上下流に生息するホタルの繁殖活動、観察会を実施する。ホタルの餌となるカワニナの繁殖活動や流域繁殖場所の環境保全活動など、年間を通しての活動を実施する。

活動時期：通年



アユやウナギの放流イベント

中筋川ダム上流に生息するアユやウナギを保全するとともに、アユやウナギの放流やつかみどりイベントを実施する。中筋川ダム上流の魚道を活用し、ダム湖内での繁殖活動も推進する。

活動時期：通年



※画像は三原村清流祭り

基本方針② ダム及びダム湖環境の活用

中筋川ダムでの洗浄放水・噴水・ライトアップ

中筋川ダムにおいて、毎月第4土曜日をダムの日とし、所定の時間に洗浄放水・噴水・ライトアップを実施する。



活動時期：毎月第4土曜日



ダムでのイルミネーション

各種イベント等に合わせ、ダムでのイルミネーションを行う。

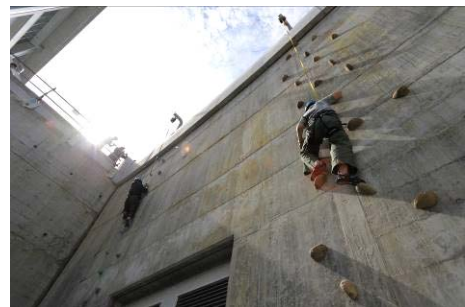
活動時期：冬季（クリスマス等）



横瀬川ダムでのクライミング

横瀬川ダムにおいて、クライミング施設を活用したイベントを実施する。また、湖面を利用したカヌー体験などと組み合わせたアクティビティメニューを随時提供できる体制、仕組みをつくる。

活動時期：通年



ダム堤体内でのお酒等の貯蔵

温度が約 12℃で安定しているダムの内部通路に三原村の特産であるどぶろくを貯蔵し、各種イベントの開催時期に合わせて蔵出しを行い、販売する。

活動時期：6月に蔵入れ～8月中旬に蔵出し



ダムカレーの販売

地元の飲食店と提携し、ダムカレーを販売する。また、ダムカレーコンテスト等のイベントにも活用する。

活動時期：通年



カヌー、SUP 体験

ダム湖において、カヌーや SUP 体験など、湖面を活用したイベントを実施する。

活動時期：夏



キャンプ、水遊び

中筋川ダムでは、梅ノ木公園、柚の木オートキャンプ場を拠点とし、川遊びができる初心者向けのファミリーキャンプ場を提供する。

横瀬川ダムでは、サイクリングやクライミング体験と組み合わせた上級者向けのキャンプを想定する。

活動時期：春～秋



ダム周辺サイクリング

両ダムの豊かな周辺環境を活用し、サイクリングイベントを実施する。土佐くろしお鉄道との連携や遊休施設のサイクリング拠点としての利活用を行うとともに、快適なサイクリングコースとしての定着を目指し、MAP の作成や SNS 発信などを積極的に実施する。

活動時期：通年



四万十市周辺遊休施設の拠点利用

中筋川ダムと横瀬川ダムの中間地点周辺の遊休施設等をサイクリングの拠点の一つとして利活用する。サイクリストの休憩拠点とすると共に、土佐くろしお鉄道との連携や、JCL 高知大会のコースの紹介など地域をあげてのサイクリストの聖地として PR する。

活動時期：通年



基本方針③ 防災教育

ダム見学会

ダム見学会を実施し、ダムの機能や役割について説明する。また、ダム見学を取り入れた観光ツアーを実施する。

活動時期：通年



蛍湖まつり

ダム放水や噴水などに加えて、中筋川ダム冒険クイズラリーやドローン体験、ダムペーパークラフト作成など、楽しみながら防災を学ぶことができるイベントを実施する。

地元の特産物や貯蔵中のどぶろくの展示販売なども実施し、流域の食と自然が満喫できる一日とする。

活動時期：夏～秋頃



基本方針④ 情報発信と人材育成

広報誌作成

中筋川流域や周辺地域の観光情報、中筋川ダムと横瀬川ダムに関する情報を掲載した広報誌を発刊する。

また、ダムの絵本作成やペーパークラフトの配布など、両ダムを広く知ってもらう活動を積極的に実施する。

活動時期：通年



SNS 等での情報発信

中筋川ダムと横瀬川ダムに関する情報を、SNS や Twitter、Youtube 等で発信する。

活動時期：通年



手作り市

各種イベントに合わせて、地元手作り市を開催し、地元の特産物や地元で活動している業者の出店を募集し、流域の食をPRする。

活動時期：通年



各種イベントでの民間事業者等の参画

各種イベントの担い手として、民間事業者等の参画を積極的に募集し、地域活動を自立かつ持続的に実施する人材を育成する。

また、梅ノ木公園や柚の木炭焼き小屋などの管理を市町村に移管することも検討する。

活動時期：通年

流域の小中学校との連携

ホタルやアユの生育しやすい自然環境の保全を目標に、ゲンジボタルの餌となるカワニナの繁殖や流域での観察会など流域の小中学校からの積極的な参画を呼びかける。

活動時期：通年

中筋川流域水源地域ビジョン

令和5年3月

発行 ダム利活用調整協議会

事務局 国土交通省 四国地方整備局 渡川ダム統合管理事務所

〒788-0781 高知県宿毛市平田町黒川櫛ヶ崎山5312-48

TEL 0880-66-2501 FAX 0880-66-2511
